

Q. ふるさと納税の返礼品の米について拡大してはどうか

A. 販売目的の米の作付面積は非常に少なく、今はなかなか難しい



ここを聞きました

●稲作農家の振興対策について

―稲作農家の振興対策について―

平松 稲作農家を守っていくことについてどう考えているのか。

産業経済部長 果樹、あるいは野菜等も含めた中で主要作物の非常に重要なものであると思っております、そういったものと合わせて今後も米を中心として、果樹、野菜も含めた中で農業振興を図っていく必要がある。

平松 国は攻めの農業、輸出型農業と称して大企業の輸出拡大の予算を増やしているが、これでは日本の地域農業が疲弊するだけでなく、地域経済も衰退していくことになると思うが、このことについて市の認識を問う。

産業経済部長 国が進めている農政であり、国が判断しており、国

全体の中山間地域の農業を守るという意味においては中山間地域等直接支払制度は不利な条件の中において経費などがある程度補填するという制度もあるので、そういった中で農業は進められていると認識している。

平松 本市独自でも政府に対して米をはじめとする農産物の価格と農業を支える実効のある価格補償制度の確立と戸別補償制度の復活を申し入れるべきだと思っております。

産業経済部長 平成31年1月から収入保険制度が始まる。米も含めて農産物であればほとんどの品目を対象とするものである。また経営所得安定策という点では農業共済、あるいは野菜価格安定制度など、既存の国の制度を有効的に活用していきたいと考えている。

Q. 新年度予算での定住促進施策はどうなっているのか

A. 若者、子育て世代向けの定住施策の拡充を図っている



ここを聞きました

●高梁市図書館について
●行財政改革プランについて
●平成30年度予算と施策について

―高梁市図書館について―

小林 開館から1年が過ぎ、市内外から予想を上回る来館者があった。どのように総括しているのか。

教育次長 1年間で66万人以上の方にご来館いただき、約半数の32万人が市外の方となっている。

新年度は貸し出し冊数を1人10冊から20冊に増やし、より図書に親しんでいただけるようにしたい。

小林 駅東駐車場の利用状況はどうか。

教育次長 NTT駐車場の利用率が低いので、料金の上限を定めるなど検討していきたい。

―平成30年度予算について―

小林 新年度予算での定住促進施策はどうか。

策はどうか。

市長 若者、子育て世代向けの定住促進施策の拡充を図っていて、住宅リフォームや民間賃貸住宅建設に対する助成制度は、若者定住の視点でリニューアルした。

小林 一般社団法人「梁クラス」の取り組み状況はどうか。

市長 梁クラスは移住相談、現地案内、情報発信、移住後のフォロー、空き家の掘り起こしなど、総合的な事業を委託していて、今年度は50件を超える方を案内し、20件の方が移住を決められた。

市の空き家バンクの状況は、延べで222件の問い合わせがあり、152件が成約した。この実績は県下1位である。

Q. 本庁の窓口業務を民間へ委託するとあるが、個人情報の流出やプライバシーの侵害などの問題はないのか

A. 先行他市の事例を参考に民間委託が可能な業務の分析等、総合的に検証する



ここを聞きました

●基金残高と地方交付税について
●高梁市行財政改革プランについて
●市道、農道の修繕や改良について
●児童安全対策について
●第4種踏み切りの汽笛について
●定住施策について

―行財政改革プランについて―

宮田 地域局、市民センターの見直しとあるが、どちらもまちづくりの拠点である。むしろ強化すべきではないか。

総務部長 両施設とも窓口業務はもちろん、まちづくり業務の中心である。加えて地域局は災害時の情報収集拠点であり、体制や業務は現状を維持する中で、本庁との業務の仕分けを考えている。

宮田 本庁の窓口業務を民間へ委託するとあるが、戸籍や住民基本台帳、国保や年金などの個人情報、流出やプライバシーの侵害などの問題はないのか。

市民生活部長 先行他市の事例を参考に民間委託が可能な業務の分析、個人情報やプライバシー、安

全性の確認、サービスの向上の度合い、経費削減の内容など総合的に検証する。

宮田 全国的に見ても窓口業務の委託は進んでいない。委託したが元に戻した事例や、委託料が削減額より高い事例もあった。

市民生活部長 研究を進める中でいろいろな情報が入ってくる。委託ありきではないが、メリットもあり検証しながら進めたい。

Q. 市内の公共施設等に設置しているAEDについて、夜間対応できないか

A. 緊急時は夜間でも使えるよう屋外の設置を早急に進めたい



ここを聞きました

●教育施策の推進について
●AED(自動体外式除細動器)設置について
●産前産後のサポート体制について

―AED(自動体外式除細動器)の設置について―

川上 昨年の6月議会で、AEDの夜間対応について、コンビニエンスストアへの設置などを提案したが、その後どのように検討したのか。

市長 市内公共施設のAEDは、いずれも屋内に備え付けられているが、夜間にも対応するため、屋外に設置できるよう地元と協議を進め、できるだけ早いうちに市民に知らせようしたい。

また、市役所本庁舎では、宿直室で貸し出しできるようにする。さらに、コンビニエンスストアにも協力をお願いしていきたい。



市役所本庁舎宿直室前のAED

―教育施策の推進について―

川上 中学校の部活動の顧問について、外部人材を積極的に活用すべきではないか。

教育長 今年度は単市のスポーツエキスパート事業で中学校の部活動へ外部人材を派遣している。新年度は国の部活動指導員派遣事業を活用し拡充していきたい。